

フィールドネットワーク対応 **61・UNIT** シリーズ

取扱説明書	Tリンク用(富士電機製) マルチアナログ通信ユニット	形式
		61F

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

・マルチアナログ通信ユニット .....1台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

## ご注意事項

### ●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。  
交流電源：定格電圧 85 ~ 132 V AC の場合  
85 ~ 132 V AC、47 ~ 66 Hz、約 3 VA  
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合  
24 V DC ± 10 %、約 4 W、約 160 mA

### ●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入出力信号を遮断して下さい。

### ●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -5 ~ +55℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

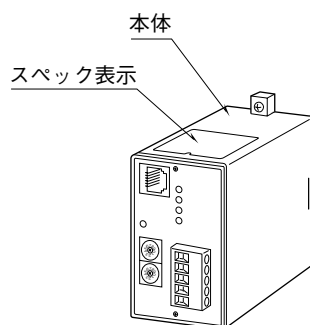
### ●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

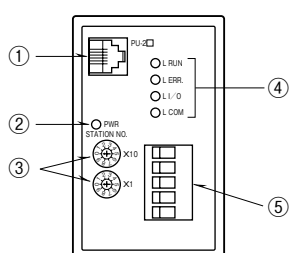
## 取付方法

多連ベース（形式：M□BS2）をお使い下さい。

## 各部の名称



## ■前面図と設定方法

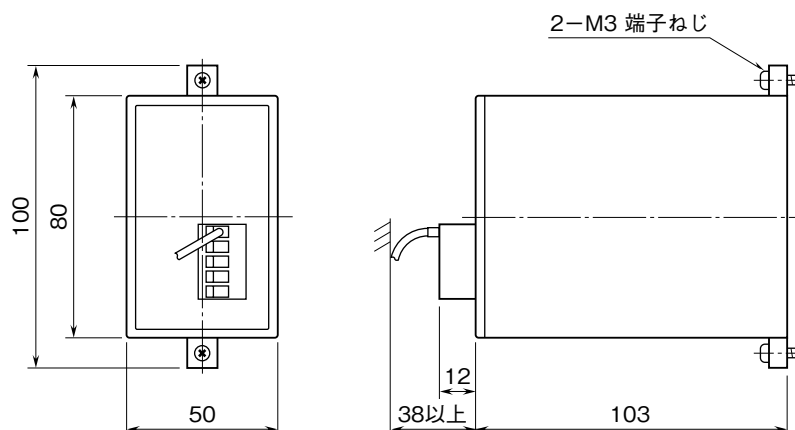


設定	名称	内容	
①	工場調整用 モジュラージャック	工場調整用のため、使用できません。	
②	電源表示ランプ	ランプ名称(色)	内容
		PWR (緑)	点灯: 電源供給あり 消灯: 電源供給なし
③	局番設定スイッチ	局番を 00 ~ 99 の範囲で設定する。(工場出荷時の設定: 00)	
④	運転状態表示用 ランプ	ランプ名称(色)	内容
		L RUN (赤)	点灯: 交信正常 消灯: 交信断時(タイムオーバーエラー)
		L ERR. (赤)	点灯: 交信データエラー時 消灯: 交信正常時
		L I/O (赤)	入出力正常時点滅
⑤	T リンク用コネクタ 形ユーロ端子台	T リンク用ケーブル配線用コネクタ	

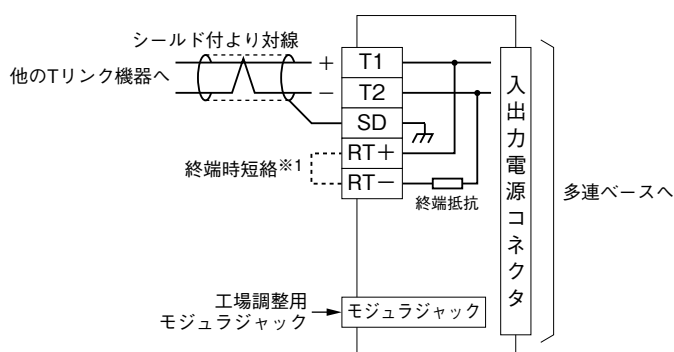
## 接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

### 外形寸法図 (単位 : mm)



### 端子接続図



- ※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は (= 渡り配線がない場合)、端子 RT+、RT- 間を付属のショートチップ (または配線) で短絡して下さい。  
 ユニットが伝送ラインの途中で配線されているときは、端子 RT+、RT- 間のショートチップをはずして下さい。  
 注) 渡り配線は T1、T2、SD 端子を使って下さい。

## 配 線

### ■コネクタ形ユーロ端子台 (T リンク)

適用電線 : 0.2 ~ 2.5 mm<sup>2</sup>

剥離長 : 7 mm

## 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器〈エム・レスタシリーズ〉をご用意しております。併せてご利用下さい。

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。